

事務事業名	特定防衛施設河川改修事業（9条）	整理番号	25402-030
所管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

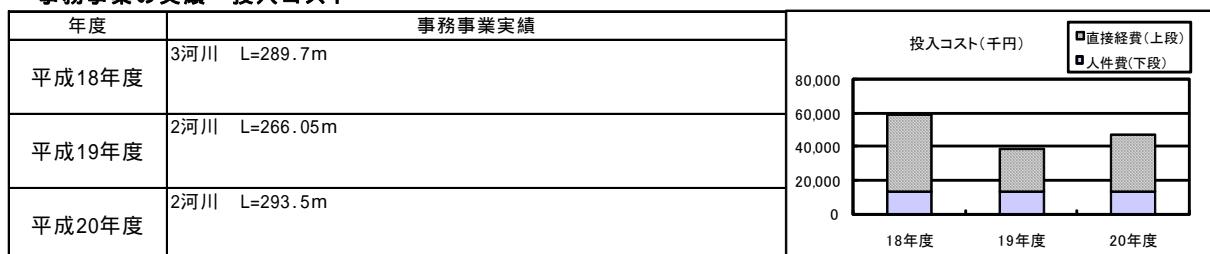
事務事業の位置付け

期間	昭和57年度～平成年度	根拠法令・要綱等	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律施行規則
基本計画における位置付け	基本政策 政策	2-5 2-5-4 防災体制の充実 環境共生型の治山・治水	関連 政策

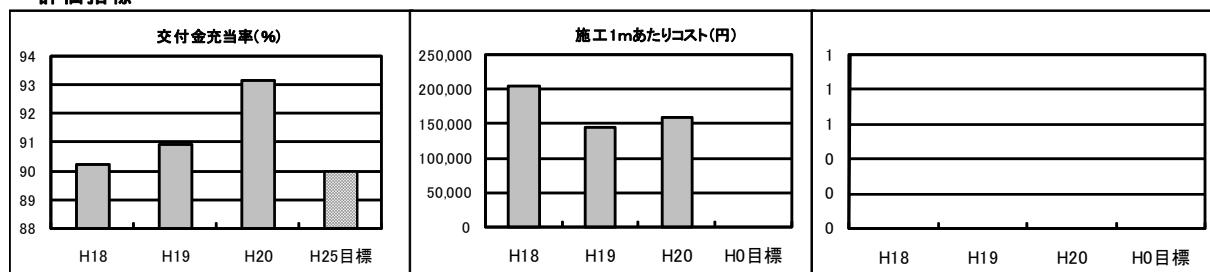
事務事業の内容

目的 (何のために)	生活環境等の向上を図る。
対象 (誰・何を)	河川の氾濫により被害を受ける住民及び河川環境悪化の影響を受ける住民
手段 (どのようなやり方で)	排水路改修
成果 (どのような状態にしたいか)	災害防止、環境改善が期待される。
事務事業の背景・住民の意向	演習場使用に伴い生活環境、開発に及ぼす影響が考慮されしの公共施設整備に対して助成を受ける。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト



評価指標



事務事業の評価

担当部署の評価		コメント	今後の方向性 継続	
観点別評価	必要性	地球温暖化に伴う集中豪雨の頻発化に対応するため、着実な整備が求められている。		
	有効性			
	効率性			
総合評価	B			

改革プラン

平成21年度からの対応	演習場周辺の住居環境の改善及び浸水対策に寄与します。
平成22年度以降の対応	演習場周辺の住居環境の改善及び浸水対策に寄与します。
改革により予想される成果	演習場周辺の住居環境の改善及び浸水対策に寄与します。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	市単独の河川整備は、防衛9条交付金の活用を図り、当事業での実施を検討する。
仕分け理由	
ある程度の防衛9条交付金の配分が見込まれることから、効率的な事業実施を図る。	